

こんにちは



第 97 号  
12月定例会  
令和4年1月20日

# 豊丘村議会 **です**



## 下伊那の特産品 「市田柿」

—出荷に向けたパック詰め作業—  
(詳細は21ページをご覧ください)

|                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 議長年頭あいさつ .....        | 2ページ        |
| 令和3年第4回定例会 .....      | 3～4ページ      |
| 一般質問 .....            | 5～15ページ     |
| 委員会報告 .....           | 16・17・19ページ |
| 村への政策提言 .....         | 18ページ       |
| 北部ブロック町村議会・議員表彰 ..... | 20ページ       |
| 年末の風物詩 .....          | 21ページ       |
| みんなのページ .....         | 22ページ       |

# 令和3年 第4回定例会

12月2日～  
12月21日

令和3年第4回定例会が12月2日から12月21日までの、20日間の会期で開かれました。  
開会日には、条例案4件、補正予算案5件、一般案件4件、請願1件が上程されました。  
この内、条例案3件、補正予算案1件、一般案件4件は即決で可決された。その他の案件については各委員会に付託されました。  
今定例会では、総務産建委員会が6日、社会文教委員会が7日、予算決算委員会が10日に開催され、付託された議案の審査が行われました。  
再開日の21日の本会議には各委員会の審査結果の報告、追加議案として補正予算1件、議員発議1件があり、条例、補正予算は原案通り可決されました。  
15日と17日の一般質問には10名の議員が質問に立った。詳細については後項で掲載。

## ○出された議案一覧 ※補正予算関係と請願については4ページに掲載

|             |                                                                                    |                            |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 議案第50号      | 課設置条例等の一部を改正する条例の制定<br>(産業建設課を産業振興課、環境課を建設環境課に組織編成替えをする事に伴い条例の一部改正)                | 即決、可決                      |
| 議案第51号      | 押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の改正<br>(国の見直しに伴い押印見直しマニュアルに基づき、条例の様式について改正する条例)              | 即決、可決                      |
| 議案第52号      | 印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定<br>(マイナンバーカードでも印鑑登録証明書の交付申請が可能となる)                    | 即決、可決                      |
| 議案第53号      | 国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定<br>(出産育児一時金等が40万4千円から40万8千円に、コロナの国保疾病手当の適応期間が令和4年3月31日まで延長) | 社会文教委員会付託、<br>本会議で可決       |
| 議案第59号      | 財産の取得について<br>(防災行政情報配信端末、タブレット1000台)                                               | 即決、可決                      |
| 議案第60号      | 財産の取得について<br>(小型動力ポンプ付消防自動車3台)                                                     | 即決、可決                      |
| 議案第61号      | 損害賠償の額の決定について<br>(緊急断水による稼働中の印刷機の故障)                                               | 即決、可決                      |
| 議案第62号      | 橋梁修繕工事(中央線虹川大橋)工事変更請負契約の締結について<br>(工事変更のため請負契約を変更3608千円を追加)                        | 即決、可決                      |
| 請願第2号       | 沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む土砂を新基地建設の埋め立てに使用しないよう求める請願                                           | 総務産建委員会付託、<br>本会議で採択、意見書提出 |
| 発議第6号(追加議案) | 沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む土砂を新基地建設の埋め立てに使用しないよう求める意見書の提出について                                   | 即決、採択                      |

## 議員の意思表示一覧表 <令和3年12月 第3回 定例会> ○……賛成 ▼……反対 欠……欠席

|    | 件 名                                              | 審議<br>結果 | 武田<br>篤子 | 唐澤<br>克己 | 滝川<br>利秋 | 吉川<br>明博 | 松下<br>亨 | 井原<br>康明 | 片桐<br>義憲 | 川野<br>孝子 | 前沢<br>光昭 | 下平<br>豊久 | 平澤<br>恒雄 |
|----|--------------------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 請願 | 沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む土砂を新基地建設の埋め立てに使用しないよう求める請願         | 採択       | ○        | 欠        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ▼        | ○        | 欠        | ○        |
| 発議 | 沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む土砂を新基地建設の埋め立てに使用しないよう求める意見書の提出について | 可決       | ○        | 欠        | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ▼        | ○        | 欠        | ○        |



## 議長 片桐 忠彦



皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、議会活動にご理解ご協力、またご指導賜りましたこと、心から感謝申し上げます。本年も引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症拡大の波が飯田下伊那にも押し寄せました。どのように感染防止対策をし、議会運営を行うか、大変苦慮したところです。対策としては、長時間にわたる密な状態を避ける等、村民の皆様への傍聴自粛をお願いし、また村側や議員の議場への入場調整を行いました。さらには一般質問では自主的な時間短縮などで、対応してまいりました。傍聴の件については村民の皆様のご協力に感謝しております。

また昨年の議会活動としては、3月の定例会において、議員定数を削減することを決定し、次回選挙から定数12人となりました。

その後は、議会改革として取り組むべき課題を協議しました。

課題として、広報広聴の強化、議会運営委員会の権限事項の明確化、ICTによるバーベレス化、議員のなり手不足対応等が出され、検討を重ねてきました。

広報広聴の強化は、議会活動などの広報と、村民の皆様のご意見、お考えをお聞きする広聴などです。議会の基本であります。ことに広聴はあまりできていませんでした。広聴強化策が必要となっています。議会運営委員会の権限事項の明確化としては、今までのような議案の審査方法の検討のみならず、議会の運営方法についても、どこまで権限を持つて行うかを研究し、よりスムーズな議会運営に努めるものです。ICTによるバーベレス化は、デジタル化社会の中、村と調整しながら、研究を進める必要を感じています。議員のなり手不足対策は、議員になりやすい環境づくり等協議してまいりました。

新年を迎え、昨年協議した事柄を早急に具現化し、実行しなければと思います。今後、村民の皆様への負担にこたえられるよう、議会となるよう、取り組んでまいり所存でございます。本年もよろしくご発展されますことを、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 一般質問 —10人の議員が村政を問う—

新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで質問をしております。

## 【1 日目】

1. 川野 孝子 (6 ページ)
  - 1) 新型コロナワクチン接種状況について
  - 2) 第 8 期介護保険事業計画の取り組みについて (介護予防について)
2. 武田 篤子 (7 ページ)
  - 1) 認知症の見守りにについて
3. 唐澤 克己 (8 ページ)
  - 1) 森林経営管理制度の目的と課題について
  - 2) 新学習指導要領による学校現場での取り組み状況について
4. 平澤 恒雄 (9 ページ)
  - 1) 行政のデジタル化と端末操作講習会について
  - 2) ヒロリ菌検査による胃がんリスク判定について
5. 滝川 利秋 (10 ページ)
  - 1) 農地の維持管理について展望と提案
  - 2) 介護認定されていない高齢者の一時預かりの場を

## 【2 日目】

6. 松下 亨 (11 ページ)
  - 1) 災害時住民支え合いマップ事業の拡充について
  - 2) 認知症施策について
7. 唐澤 健 (12 ページ)
  - 1) ネオニコチノイド系農薬について
  - 2) 「画面」(スマートフォン、タブレット、テレビ、コンピューター、ゲーム) について
8. 前沢 光昭 (13 ページ)
  - 1) 認知症へのそなえについて
  - 2) 燃料費高騰対策について
9. 片桐 義憲 (14 ページ)
  - 1) 通学路要対策箇所の今後の改善計画は
10. 壬生真由美 (15 ページ)
  - 1) ランドセル購入助成について
  - 2) 生ごみ処理から考える『つくる責任・使う責任』

### 【一般質問の申し合わせ事項】

- ・ 通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・ 1 議員の発言時間は 30 分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・ 発言残り時間 5 分前に呼び鈴を 1 回、残り 3 分前に呼び鈴を 2 回鳴らす。
- ・ 発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。

# 補正予算案(第5号、第6号、第7号)

3 件全て原案どおり可決、請願 2 号も採択

補正予算案 3 件と請願 1 件に対する審議の経過について概要を報告します。

## 補正予算 第5号

審査日  
12月  
2日  
(木)

1035万7千円計上  
灯油などの価格高騰に伴う家計支援のために、子育て世帯と

## 補正予算 第6号

審査日  
12月  
10日  
(金)

●一般会計1億7368万6千円追加  
(主なもの)  
○ふるさと納税寄附金1億円  
○村債 5330万円  
○衛生費国庫補助金762万円

## 歳入

問 詳細説明を。

答 村内5か所をアナログからデジタルカメラに改修。蛇川はライト一体型のカメラにする。

## 歳出

○住宅用地取得・建築

○コロナワクチン接種、追加分と3回目接種の当面必要

分760万円。  
○用水路改修など1000万円。

問 村負担が450万円計上されている。場所はどこか。

答 長沢りんご団地入り口付近の工事。

○道路新設改良等2700万円。

問 工事請負費の補助事業関連工事費に800万円は何の支出か。

答 佐原緑林原改良工事の関係で、土蔵の移転費用の追加分。

●国民健康保険特別会計4586万8千円追加

被保険者医療給付費、高額療養費増による。

●水道事業会計20万円追加

職員超過勤務手当。

●下水道事業会計20万円追加

職員超過勤務手当。

賛成討論要旨

唐澤(健)議員、滝川議員、平澤議員、前沢議員

南部は激戦地であっ



## 補正予算 第7号

審査日  
12月  
21日  
(火)

2億796万7千円追加  
(主なもの)

## 歳入

## 歳出

○地方交付税 9174万7千円  
○国庫支出金 1億1622万円

○子育て世帯への臨時特別給付金10万円を1153人。  
○村内福祉施設と農産物ビニールハウスの灯油・重油高騰分助成310万円。

請願  
沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む土砂を新基地建設の埋め立てに使用しないよう求める請願  
請願者・沖縄の不屈の戦いに応え辺野古新基地に関する請願を出す会代表 原 富子さん

## 反対討論要旨

川野議員

「沖縄のどこの土を取らないように」という実際の土地名までのっていない。不明瞭である。

賛成討論要旨

唐澤(健)議員、滝川議員、平澤議員、前沢議員

南部は激戦地であっ

た。常識論として遺骨の入った土を入れることはできない。  
人々の血が染み込んだ土地を使うのはあってはならない。遺族への冒とく。  
南部の土地にはたくさんさんの遺骨が入っている。この請願は納得できる。



## 高齢者等見守り訓練の成果は

答 地域での理解を深め支える地域づくり実践の場

武田 篤子 議員

質問 認知症は年を重ねるほど発症する可能性が高まり、今後も認知症の人は増え続けると、予想されている。現在の村の認知症患者の人数、そして、患者数の推移について伺いたい。

健康福祉課長 認知症高齢者の自立度判定基準で、日常生活に支障をきたすような症状や行動が見られる方は、令和2年度252名、令和元年度241名、平成30年度247名、平成29年度232名、平成28年度223名。

質問 「認知症の方が安心して外出できる村作りを目指して、認知症高齢者役への声掛け訓練」高齢者等見守りネットワーク模擬訓練が、令和元年は伴野区、令和2年は河野区、そして今年は（10月23日に）田村区の協力を頂いて行われたわけであるが、その訓練の成



模擬訓練の様子

果について、どのような感じているのか。また、認知症患者や認知症を理解することについて村では、「認知症サポーター養成講座」が行われているが、他の取り組みもあれば伺いたい。

健康福祉課長 村と杜協とが主催して、区の協力を頂きながら地域の理解を深め、認知症高齢者を支える地域づくりをおこなっている。また、中学校で認知症サポーター養成講座を毎年行っている。今回、受講した生徒さ

提案 今年の、見守りネットワーク模擬訓練が生かされるように、ぜひとも豊丘村でも、認知症一人歩き高齢者家族への支援補助として「GPS位置探索システム」への補助を行っていただきたい。

村長 村としても要望

GPS探索システムへの補助を行ってはどうか  
来年度予算に向けても検討したい

提案 今年の、見守りネットワーク模擬訓練が生かされるように、ぜひとも豊丘村でも、認知症一人歩き高齢者家族への支援補助として「GPS位置探索システム」への補助を行っていただきたい。

村長 村としても要望

んが見守り訓練に参加され、認知症への理解を深めていることを実感した。

質問 今年10月23日に行われた、高齢者等見守りネットワーク模擬訓練では、GPSの端末を利用し、認知症高齢者の方の発見をする試みが行われた訳だが、その試みに至るまでの経緯や、GPSを利用してみても効果や感想など伺う。

健康福祉課長 ケアマネ・個別会議などで提案され、介護保険事業計画推進協議会で検討

の情報機器の力をかりて、認知症一人歩き高齢者の安全確保や、家族の負担軽減を図ることも必要と思う。今回のGPSを使つての模擬訓練を踏まえ、今後どのようにしていくつもりなのかについて伺いたい。

健康福祉課長 介護者の様々な負担を軽減するために、個人個人にあった最適な製品の導入を検討したいと思う。



## 新型コロナワクチン3回目の接種方法は

答 「お任せ予約」の申し込みを受付中

川野 孝子 議員

質問 現時点での豊丘村のコロナワクチン接種状況について聞く。

健康福祉課長 12歳以上の人で2回の接種を終えた人は92.2%。12歳から64歳の人は90.8%となっている。意識の高さを伺うことができる。

質問 一回も打っていない人が打みたい時はどうすればよいのか。

健康福祉課長 接種を受けられる期間は令和4年9月30日までとなっている。役場への問い合わせをお願いする。

質問 3回目の接種の方法はどのようにするのか。

健康福祉課長 接種券の届いた人から役場のコールセンターとネットでの予約を受け付ける。1回目の申し込みの混乱を反省し「お任せ予約」の取りまとめを行っている。日時、会場、ワクチンの種類

はすべて村にお任せとなる。予想以上の申し込みをいただいたている。

質問 そうするとファイザーを打ちたいとかモデルナにしたいという希望については駄目ということか。

健康福祉課長 ワクチンがどのよう供給されるか未定なので回答はできない。

要望 3回目の接種がスムーズにいくことと、初めての人への対応も願う。

第8期介護保険事業の中での介護予防は  
ミニデイやサロンの利用を

質問 豊丘村の介護認定者は353名。この内認知症の人が109人、脳血管疾患の人が61人。認知症の人がいかに多いか心配されるが、独居高齢者、2人高齢者の世帯で、介護が必要な人が何人おられるか。老々介護の実態を村はどのように把握しているか。

健康福祉課長 認定者の内、独り暮らしの人が51名。2人世帯の人



介護の日常を離れリフレッシュ

が87名である。老々介護の実態である。

質問 ミニデイやサロンに参加し、皆さんと交流し、楽しい時間を過ごすことは本当に大事。そういう場所に来られない人たちへの施策等があったら聞きしたい。

健康福祉課長 本人の意向を確認することが大事。ミニデイやサロン等に来られなくても、健康管理や農作業を行って介護予防ができていないという場合もある。本人の希望で参加をしない、されない場合は地域活動の中で声がけや訪問等で対応する。

要望 老々介護の日々を送っている人、若い人でも男性でも介護をしながら仕事もしている人もい。村と杜協で行っている介護者リフレッシュ事業も、支えになっていると思うので、より多くの介護者が出席できるように事業の拡大、充実を要望する。



## マイナンバーカード取得率の向上策は

**答** 1～2月を推進月間とし商品券を贈呈

平澤 恒雄 議員

質問 国はデジタル活用支援推進事業でスマートフォン（以下スマホという）の利用方法やスマホによる行政手続等の講習会を支援している。豊丘村でも高齢者を対象に実施したかどうか。

**答** 高齢者中心にスマートフォン講習会  
社協や公民館と連携し実施を検討

質問 国はデジタル活用支援推進事業でスマートフォン（以下スマホという）の利用方法やスマホによる行政手続等の講習会を支援している。豊丘村でも高齢者を対象に実施したかどうか。



スマホ操作はとにかく面倒だという女性高齢者

対象に、スマホ講習会や相談会の実施を検討する。

質問 マイナンバーカード（以下カードという）発行数と取得率は、昨年から今年にかけてのマイナポイント事業（以下ポイント事業という）でどう変わったか。また今後のカード取得の進め方は。

質問 有線放送による朝昼夜のお知らせは、今後防災アプリに変更となり、パソコン・タブレット・スマホで視聴する。しかし、防災アプリをスマホで使う人には講習会の予定がないと聞く。デジタル活用支援推進事業や依

## 防災アプリのスマホ講習会も必要

**答** 委託業者がタブレットと合わせて行う

質問 有線放送による朝昼夜のお知らせは、今後防災アプリに変更となり、パソコン・タブレット・スマホで視聴する。しかし、防災アプリをスマホで使う人には講習会の予定がないと聞く。デジタル活用支援推進事業や依

## ピロリ菌検査で胃がんリスク判定を

**答** ピロリ菌除菌での胃がん防止は未実証

質問 国は2013年に胃がんの原因となるピロリ菌の除菌を保険適用とした。これにより、ピロリ菌除去が進み、この7年間に胃がんでの死亡が17%減ったと言う。中学生、消防団、特定検診などの血液検査にピロリ菌検査を加え、胃がんリスクを判定したらどうか。

村長 胃がんリスクの判定は、ピロリ菌感染の検査と胃炎の検査の組み合わせが必要だ。



## 森林経営管理制度施行上の課題は

**答** 委託山林の大半は林業経営に適さず

唐澤 克己 議員

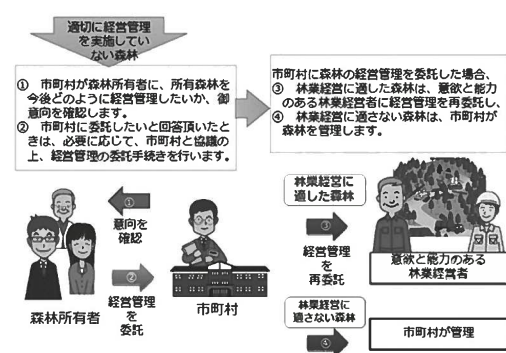
質問 森林経営管理制度では、村に管理を委託された山林を、経営が成り立ちそうなものと、そうでないものに分類し、集約していくとあるが可能なか。

質問 今後事業の進捗状況や結果を毎年公表してほしいがどうか。

質問 小学校では昨年度より新学習指導要領が施行され、外国語教育とプログラミング教育が導入された。外国語教育はどのように実施され、生徒や先生方の反応や感想はどうか。

教育長 3・4年生は、週に1時間、英語の歌やインタビュー等、外国語に親しむ学習を行い、5・6年生は週に2時間、自己紹介、地域のおすすめの紹介など、生活に結びつけた学習をしている。担任が授業を行うが、外国語支援員やALT（外国語指導助手）がサポートに入ることもある。大半の子供たちは外国語学習が楽しいと思っており、積極的に取り組んでいる。先生方の多くは外国語が専門外のため、授業の進め方や発音指導等、外国語支援員やALTの補助を必要としている。特に5・6年生の指導では、中学へのつなぎとして学力保障の責務を感じており、そのた

め外国語支援員制度の充実を希望している。



森林経営管理制度（農林水産省林野庁の資料より）

## 新学習指導要領に対する小学校の取り組みは

**答** 生徒は外国語・プログラミングともに意欲的





## 住民支え合いマップ事業、取組み指針が必要

**答** 今後、防災計画を含め検討する

松下 亨 議員

**質問** マップ事業と防災計画は密接に関連し、この関連性が不明確だ。分かりやすく整理したマニュアルを作

成する必要がある。  
**総務課長** 現時点では  
 完璧にリンクされてい  
 ない。今後、関係部署  
 と連携を図り、分かり  
 やすいマニュアルを検  
 討したい。

全体像を整理し「マニュアル」作成を

**質問** マップには「誰が誰を支援するのか」を表示しているか。

**健康福祉課長** 支援を行う人の負担が大きい。ため定めてない。地域でマップ作りをするこにより地域の連帯感

なお、村内では地域ぐるみで全世帯名簿作りから始めた、模範的な取組を行っている自治会もある。

誰が誰を支援するか、定めは

健康福祉課長 世帯数が複数の54自治会に依頼し、51自治会で取り組んでくれた。災害時に支援が必要な方の調

行っていない。  
**指摘** 地区や役場でも  
多くの人が関わり行う  
事業。事後の検証は不  
可欠だ。

マップ作成事業、**取組み結果と検証は**

質問 今年度から本格 査を行い、地図上に表

療の權威者で、自らも認知症にかかった長谷川和夫さん著書から質問する。認知症支援の基本は「本人中心のケア」である。認知症になると本人が一番悲しく苦しくもかしい。そこで、「大丈夫ですよ、私たちがそばに

さい」「寄り添い共に歩んでいきますから」というメッセージが安心をもたらす。この「本人中心のケア」の接し方を啓発しないか。

**健康福祉課長 認知症ケアの手法は様々ある。この手法は、介護事業所の裁量である**

**答** チームオレンジ活動、新年度から実施を  
豊丘版として取組んでいく



先進的取組みの様子（林原木門地区）  
ふれあいマップ作成

行っている。

**質問** 国では認知症推進大綱で令和7年度までに「チームオレんじ活動」をやることにしている。この事業の説明を。また、新年度から取り組みをしないか。

行政として特定のケア方法を推奨できない。地域包括支援センターでは、様々な支援方法について情報収集を

健康福祉課長 この事業は、本人・家族を含む地域サポーターなどにより支援チームで、見守り・話し相手・困りごとのお手伝いなどの支援を行うもの。事業要件として、認知症の人と家族の困りごとを継続して支援できることなどとなっている。今後、ステップアップ講座修了生で組織づくりをして、豊丘版チームオレージ活動を取り組んでいきたい。



## 農地の課題、まず話し合う場を

**答** 人・農地プランの実践で地域づくり

滝川 利秋 議員

質問 農地の維持管理をどうしていくかが、今、最大の地域課題と考える。それには地域住民が、今後どんな地域にしたいか、話し合う場を、まず作るからこそ問題解決の糸口が

あると思うが。  
村長 事あるごとに、各地域、集落で話し合いの場を設定し、人々、農地プランの実践による地域づくりにつなげるたい。



### 3つの提案

①所有する農地の維持管理は、所有者の責任であること。今の農業事情を正しく認識してもらうこと。

②「特定地域づくり事業協同組合制度」という法律が、昨年作られた。この制度を活用すれば集落営農組織の人材も確保できるのである。

③SDGsの取組みは

世界の流れ。コンパイルを使わない稲架かけ米を水田所有者に呼びかけ飯米を自ら作り、余剰米は、ふるさと納税返礼品として取り組む。

**産業建設課長**

①人・農地プランで議論し、推進していく。

②県へ照会したところ、人口減少率など県での認定基準をクリアできない。

③農地所有者の意見を聞いた上で。

介護認定されていない高齢者の一時預かりの場を

**答** まず地域包括へ相談して

質問 足腰も頭もしつかりした母親と同居する方からの要望。離れて暮らす子供の所へ出て掛きたいが、母親が心配で出掛けられない。  
介護認定はされてい

ないが、高齢であること  
とから、ガスの取り扱いな  
ど心配が多い。一泊でも昼  
間一日でもよいので預かっ  
てもらえたら。

健康福祉課長 こうした相談は、過去1〜2件と多いとは言えないが、潜在的なニーズとも受け止めている。

宿泊を年1〜2回のみ受け入れてくれる事業所は近隣ではない。地域包括支援センターに相談して頂ければ個人に合った支援策で対応していきたい。

村内90歳以上人口 **234名**

- 50名(施設入所・長期入院・特養・老健)
- 104名(在宅で介護保険利用者)
- 80名(介護保険を利用しない方)  
一ほとんどが家族と同居一

(令和3年12月1日現在)



## エンディングノートの活用を

**答 有効だから壮年期からの普及が大事**

前沢 光昭 議員

**質問** 人生の終末期をどう迎えて行くのかという誰しも避けられないもの、いわゆる終活というものがある。まだ判断能力のあるうちに家族や身内に大事な事は伝わるように備えておきたいことはわかってはいるが、なかなか出来ないもの。認知症も周りで気が付いたときには判断つかなくなっていることもある。

**医療や介護の継続** 亡くなったときにどのような供養を望むのか、金融機関への借金、未払金、貯蓄から相続まで弁護士や司法書士を頼むまでもない案件として家族に伝えておくべきことがある。場合によっては行政に相談する人もいると思う。

今は「エンディングノート」と言うものがあり、本屋さんでも売っており通販でも手



イチゴのハウス栽培

に入るがその活用でその存在自体知らない人も多い。基本的な情報家族に伝えるツールとしては有効と思う。行政として紹介して活用できないものか。

**健康福祉課長** 誰でもいつでも、命にかかわる大きな病気やケガをする可能性がある。人生の最後を自分らしく生きるために身近な人達と話し合っておく

「アドバンス・ケア・プランニング」と言われる「人生会議」は近年大変重要視されている。エンディングノートはその中の一つのツール。私も有効と思う。エンディングノート「単体でなく、壮年期から普及が大事で、まずは「人生会議」の地域での理解を深める活動に取り組みたい。

**燃料費の高騰対策について**

**答 ハウス栽培農家、社会福祉施設も対象**

**質問** 原油の高騰は重油などのハウス栽培燃費にも及び、農家の経営にも大きく影響。とりわけ昨年からコロナ感染の影響で、観光農家の収入も大きく減少している中でダブルパンチとなっている。燃料費は経営の中でも大きな比重を占めている。いちご、トマト、花卉類などの農家へ支援ができないものか。

**産業建設課長** 重油の高騰は経営上の大きな打撃であることは村の方でも十分認識している。村としてもJAと連携して何らかの助成措置を検討中。広報でも聞き取り調査中。何とか助成できるよう対応したい。

**質問** 政府は、貧困家庭などへの灯油購入補



助した場合に、その半額を特別交付税で措置すると発表。ハウス栽培同様に、社会福祉施設の灯油購入も対象となるとされている。村内施設も購入補助できないか。

**総務課長** 地方公共団体における原油価格高騰に対する助成制度などへ、特別交付税で措置される予定。ハウス栽培の価格高騰分助成についても対象にできると判断。また、社会福祉施設への助成についても必要と判断している。



## 給食にネオニコチノイド系農薬を使用しない米の使用を

**答 令和3年度米は、使用しない米だ**

唐澤 健 議員

**質問** 欧州委員会（EU）は2018年、ネオニコチノイド系農薬を主成分とする薬剤について作物への使用を禁止した。日本でも「蜂群崩壊症候群」（CCD）が発生しミツバチが大量死しました。ネオニコチノイド系農薬の単位面積当たりの消費の多い韓国と日本では、子どもの広汎性発達障害、自閉症が比例するように多くなっている。（木村一黒田純子）

**提案する。** 村民にネオニコチノイド系農薬の危険性の周知と使用を避けるよう啓発すること。特に養蜂家の4km以内の使用は禁止すること。学校・保育園の給食にネオニコチノイド系農薬を使用していない米を使用すること。

**村長** ネオニコチノイド系の農薬について、禁止をということは一

行政レベルで対応することは法的にどうか。今年の令和3年度米に

**6歳前は画面なしに**

**答 画面は脳の働きを阻害している**

**質問** 小中学校のタブレットの扱いについて、どのようになっているか。

**教育長** タブレットは、学校・教育委員会と保護者との間に同意にかかる「約款」で確認をしている。「取り扱いのルール」で、村の貸与品であるから大切に使う。第三者に貸さない。アカウント、ID、パスワードは人に教えない。不適切なサイトにアクセスしない。むやみにダウンロードをしない。アプリケーションの追加とか削除は個人や家庭の判断で行わない。それから学習に関係のない目的には使わない。持ち帰ったとき家庭以外で

あつては、ネオニコチノイド系の農薬は使用されていない。

は使わない。フリーWi-Fiにつながらない。このようなルールを確認している。

**質問** 「デジタル馬鹿」の本で、「画面」について基本的な7つのルールを取上げている。①6歳前は画面なしに、正しく成長するために幼児は画面など必要としない。必要としているのは、誰かに話しかけられ物語を読んでもらうことである。

**子ども課長** 子どもたちの成長には、絵本はもちろん、誰かと触れ合って遊ぶということが大切である。今の子どもたちは画面を見ることが多く、言葉の遅れや視力低下など、脳



（ミシェル・デミルジェ著・鳥取網子訳）  
子どもの成長とデジタルツールの影響を解説

の働きを阻害しているという話を多く聞く。保育園でも園だよりや講演会を設けて、その点について気をつけている。

**質問** ①6歳以降。②1日に30分から1時間以上はだめだ。③部屋には置かない。④不適切なコンテンツはだめ。⑤朝の登校前はだめ⑥就寝前はだめ。⑦一度に1つのこと。脳はマルチタスクに支配されて発達するほど、気は散りやすくなる。

そこで提案する。保育園や小中学校の保護者に画面について繰り返し話題に載せる。タブレットの扱いについて、これらの内容を反映された。

**教育長** 「7つのルール」との関係では「部屋には置かない」は、3校の活用ルールの中で「保護者の目の届くところに保管する」と。「朝の登校前はだめ」は、その影響が顕著になってくるなら、検討したい。「一度に1つのこと」これは非常に大事なことで、あらゆる活動に共通するものだ。基本的な今の提案の「7つのルール」は保護者をお願いしている内容と共通する部分が多く、繰り返し伝えていく。





## ランドセル購入補助制度の詳細の周知を

答 広報や制度の見直しも検討したい

壬生眞由美 議員

**質問** ランドセル購入補助制度は、保護者にとって大変有難い。この制度の経緯を伺う。  
**教育委員会事務局長** 保育所保護者会からの要望で、生活改善と保護者負担軽減のため平成10年度には実施を確認。最近5年間の希望者は、合計298人中272人で91.3%。  
**質問** 来年度入学的の保護者への通知では、ランドセル代金3万2758円のうち1万9800円が助成される。通知時期や方法、校章プリントについて伺う。  
**教育委員会事務局長** 平成25年度から教育委員会と保育園の連名で11月頃に「保護者会からの要望により統一購入を実施するが、強制ではないので購入を希望されない方は連絡を」と通知した。制度を知らずに購入した方もいる。校章のプリントは1つ858円。校

章が不要な方は申し出ていただければよい。  
**質問** 社会文教委員会が実施した保護者向けの調査では、校章入りを望む48名、望まない57名。転校についての配慮も必要。制度の詳細を広く一般村民に周知も必要では。  
**総務課長** 村のホームページなどへの掲載を検討し、毎年4月に全戸配布する補助金の一覧表には加えたい。  
**質問** 個別購入の子も村の1年生。助成の検討はいかがか。また、ランドセルを背負う負担が大きい子もいる。成長に合わせたいろいろなタイプのカバンがあり、持ち物の見た目で引け目を感じない教育も必要。通学する子どもたちの声も聞き、制度の見直しも必要では。  
**教育委員会事務局長** もつともなこと。教育委員会の中で充分検討して対応したい。

**『つくる責任・使う責任』生ごみ減量のためできることは**  
**答 個人の取り組みを共有することも大切**  
**質問** 村から排出される燃やすごみの40%が生ごみ。生ごみの減容・堆肥化を奨励する補助制度と普及状況は。  
**環境課長** 生ごみ処理機の購入費用補助は平成10年度からコンポストは22年度から。今年度11月末までの累計は、生ごみ処理機375基、コンポスト1155基。単純に基数を現在の世帯数で割り返した普及率は約26.5%。  
今年度は、生ごみ処理機4基、コンポスト115基の申請者のうち13基が村内の下段、2基は中山間地に居住。  
**質問** 下段地区では、土に還った後の行き先が課題。山間地では畑に埋める世帯も多い。生ごみの回収システム

**台所の生ごみどうしていますか？**

保育園のお帰りの時間に、保護者の方におききました

南保育園で 5 : 5

中央保育園で 13 : 7

コンポスター：自宅の園地や菜園に設置する。山間地や田舎には、コンポスターの設置場所がない。



## 通学路要対策箇所の今後の改善計画は

答 来年度中に開始 横断歩道はR5年度に

片桐 義憲 議員



新設される横断歩道予定地 北垣外会所前県道

**質問** 長野県と村が合同して、先般通学路の一点検を、村では危険で対策が必要とされた箇所が23箇所あったと聞いている。学童の、安全で安心できる通学路の整備は重要課題であり、計画的、スピーディーな改善対策が求められている。本村の改善実施計画について、まずはじめに点検実施メンバーや、点検基準、観点について

お伺いする。  
**教育長** 飯田建設事務所、飯田警察署と村の駐在、村の産建課土木係、総務課総務係、南北小学校教頭先生とPTA会長、教育委員会事務局長と私の10人。国交省、警察庁、文科省、3省庁連携の安全点検であった。  
また、速度が上がります。過去に事故に至らなくてもヒヤリハットの事例があった。

た箇所。地域住民から改善要望があった場所計10箇所を中心に視察し対策を検討した。  
**質問** 具体的な改善計画と要望は。  
**教育長** 商工会前の交差点と、元大和モータースから片桐商店区間は通学路の変更。片桐商店前、中芝会所下横断歩道、北垣外会所前ではボランテア等による見守りでの対応。道路管理者の対策では、飯田建設事務所管

理の県道関係では、北垣外会所前に横断歩道、併せて待避所の設置は令和5年度予定。令和4年度では、北垣外会所前、地蔵道の旧道との交差点には減速マーク、ドットライン、センターカラー表示等の路面標示を行なう。中芝会所下のバス停移動に伴う路面標示、商工会前の交差点及び元大和モータースから片桐商店前の区間への外側線、ドットライン、セ

ンターカラー表示等行なう。県道沿いの歩道、滝川から小園までの3.8kmにガードパイプを設置する予定である。  
村道関係では、元鳥衣料品店から下る道にはスクールゾーンの表示看板を設置。河野区民会館前に、ガードパイプ設置、長沢線と旧道との交差点、広域農道大伴地蔵には自主規制看板の設置等、中部電力やJ-Vによって設置される予定である。

**質問** 学校や教育委員会での対応について。  
**教育長** 先程申した通学路の変更の検討を行なっている。また、子供達の登下校の安全指導の徹底を図る上で、通学路にスクールゾーン、危険箇所を表示する地図を作成して、安全指導を学校にお願いしている。また、ボランテアの見守りについては、学校とPTA

を含め検討中である。  
**質問** 要対策箇所改善に伴う国や、県の財政支援の計画は。  
**教育長** 交通安全に関わる土木補助があるとは聞いているが、補助申請を出して対応が2年後になる。整備内容とか緊急性等考慮し、検討していく。  
**質問** 通学路沿線のスズメバチ対策について。  
**教育長** 現在5業者が

対応できるようなになっている。今後、依頼の必要性を判断し駆除対応を行なっていく。  
**要望** 県は、子供達が安心して通学できる環境整備に努めると述べている。要対策箇所の早急な改善を強く求める。通学路におけるスズメバチ対応は、早期発見、早期駆除が肝要。適切な対応を求める。



# 「国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について」

—— 全会一致で可決 ——

## 社会文教委員会

委員長 唐澤 健

本会議で社会文教委員会に付託された議案は次の事件です。

「議案第53号 国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について」 審査

**議案の概要**

(1)公益財団法人日本医療機能評価機構が運営する産科医療保障制度における掛け金の額が1万6千円から1万2千円に変更されたことに伴い、出産育児一時金の額が40万4千円から40万8千円になったため、豊丘村国民健康保険条例の一部改正を予定するもの。

(即ち)

・改正前…40万4千円  
(出産育児一時金)＋加算額 掛け金1万6千円  
＝総額42万円  
・改正後…40万8千円  
＋加算額1万2千円  
＝総額42万円

なお、産科医療補償制度加算対象出産ではない場合の支給額(一児あたりの額)は、「40万4千円」から

「40万8千円」に引き上げられることになる。改正省令等においては、産科医療補償制度加算対象出産の要件が見直されています。産科医療補償制度加算対象出産の要件(特定出産事故の基準)を次のように見直す。

・改正後…「在胎週数28週以上」

これらの改正は、令和4年1月1日から施行する。

(2)新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対する国民健康保険傷病手当金の支給については、国の財政支援における支給基準に基づき適用期間の最終日を令和3年12月31日までとしていたところ、財政支援の適用期間について国より本取り扱いに

ついて令和4年3月31日まで延長する方針が示されたため条例の一部改正を予定するもの。この条例は令和4年1月1日から施行する。

**主な質疑**

質問 掛け金が支給額に加算されるというのは、実際の運用はどのようになるのか。掛け金はいつ掛けられ、いつ支給されるのか。

課長 今、ほとんどが市立病院でお産をするわけですが、お産の費用から42万円を引いた、残りの金額について本人が負担すればよいことになっている。

質問 病院はどこに掛け金を支払うのか。

課長 公益財団法人日本医療機能評価機構です。お金の流れは後でお示しします。

質問 なぜ自宅はダメなのか。

課長 助産院は掛けているが、自宅の場合は自己責任でということ

です。ただし、出産一時金として40万8千円は受け取れます。

質問 帝王切開の場合はどうなるのか。

課長 医療行為になるので、医療行為は3割負担だから費用は少なくて済むので、出産一時金の一部は、帰ってくることになる。

(後日提出の資料から契約・金の流れの説明)

①妊産婦と分娩機関との間で保障の約束を交わす。

②分娩機関は運営組織(公益財団法人日本医療機能評価機構)と契約し、掛け金を支払う。

③運営組織は損害保険会社と契約し保険料を支払う。

④分娩機関は妊産婦に登録証を発行する。

⑤退院時に分娩機関は分娩費から出産一時金を差し引いた額を妊産婦に請求し(又は、医療行為の場合、



審査結果  
可決

## 請願

# 「沖縄戦の遺骨を含む土砂を基地埋め立てに使用しないよう…」

—— 賛成多数、請願を採択 ——

## 総務産建委員会

委員長 滝川 利秋



総務産建委員会に付託されていた請願の審査が、12月6日行なわれた。

審査にあたっては、請願者の原富子さんを参考人として出席要請、請願の詳細や、意見を聞いた。

審査の結果、賛成多数で請願を採択した。

**請願者** 沖縄戦の戦没者の遺骨を含む土砂を新基地建設の埋め立てに使用しないよう求める請願

**請願者** 沖縄の不屈の戦いに応え辺野古新基

**地に関する請願を出す代表** 原富子

**請願の概要** 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を、埋め立てに使用しない事

**Q** 沖縄本島すべての

## 「もし長野県が沖縄の立場だったら…」

土砂を使つてはいけないという請願か。

**A** 南部地区(平和祈念公園・ひめゆりの塔など)は特に激戦となった所。「この土を使うなんて。」という思い。もし長野県が沖縄の立場だったらどうなのか。

**Q** 辺野古の埋め立てに、本土の土は全く使えないのか。

**A** 以前は使われていたが特定外来生物の混入のおそれから使えなくなった。

**討論**

(反対1・賛成2)

**審査結果** 採択

(賛成5・反対1)

## 見事に甦った豪雨の爪痕

土木事業を所管する総務産建委員会では、令和2年7月豪雨災害

の復旧工事の状況と、今後の工事予定箇所を踏査した。

豪雨災害では村内各地に大小200箇所にものぼる被害を受けたが、村内各地で豪雨の爪痕が確実に元の姿に戻りつつある現場を目のあたりにした。

担当者によれば、「何とかほぼ年度内完了の見通し」。



王生沢向平、災害復旧工事総額2600万円 公共土木施設災害復旧工事業 補助率72%

# 議会をリードする重責あり 議会運営に関する研修会を実施

議会運営委員会 副委員長 井原 康明

令和3年12月15日、議会運営委員会主催による、全議員を対象にした「議会運営」に関する研修会をリモートで実施したので、内容を一部紹介する。

・講師は長野県議会議長、政務課副参事兼担当係長、宮崎康史様・講義議題は

①議会における委員会制度の概要と調査活動等について

②議員から事前に提出した、議連の権限等について

講義については、「委員会の組織と権限」「議会運営委員会の特殊性」に関連した資料があらかじめ講師の方から提供があり、リモートにおいて説明および質疑が行われた。

今回の講義を受け、現在の当村議会における議会運営に関する認識とは、多くの認識違いがあることが確認でき大変良かった。

議会運営委員会としては、ある意味に



リモートによる議会運営研修会の様子

## 月2回ペースの検討会議 第1回の報告を取りまとめる

議会改革検討委員会 委員長 平澤 恒雄

令和3年7月16日以降、約30項目について4グループに分け、調査検討を行った。11月に中間報告を取りまとめた結果、17項目の報告が出され、委員会として採択した報告について議長に提出した。紙面の関係上その一部のみ紹介する。

1、村の付属機関へのかかりについて。

参加要請があれば応じることとする。しかし、その後の答申が後に議会の審議案件となる機関の会議には参加しない方がよい。また、内容を知っておくべき機関には議会代表による傍聴を申し出る。

2、議会モニターへの訪問活動について。

議会モニターへのアンケート用紙は郵送を改め、議員が訪問し手渡す。議会がご意見を伺う行動を起こす。

3、議会への住民参加の取り組みについて。

富士見町議会でやっている議会オープンミーティングを例に、テーマを決めて集いに参加してもらう。

4、議会が開催する報告会の実施について。

各地のミニデーは、社協を通じて依頼する。子育てママさん、消防団、日赤奉仕団、商工会、区長会など各種団体との懇談を打診する。またテーマがあれば年1回の報告会を開催する。

5、長期病欠議員の報酬について。

病欠加療による欠席の場合は、期間が長くても医師の診断書を添えた休暇願が出ていれば、報酬を減額すべきではない。としたが、少数の委員から、長期にわたり議員活動をやらざる報酬を満額受領するのでは村民の理解は得られない、との意見もあった。

# 令和3年 村への政策提言を行なう ＝役場の浸水対策など4項目＝

豊丘村議会では、一般質問で取り上げた意見や、各種団体との懇談で出された意見等をもとに、総務産建・社会文教の各常任委員会に分かれ、業者への聞き取り関係者へのアンケート調査を実施した上で、検討を重ねてまいりました。その検討結果がまとまりましたので、今後の村政に反映していただくよう、議会基本条例に基づき村長に4項目を12月21日に提言しました。

1、浸水等災害時に備えた役場庁舎に関する事前対策について

①非常用自家発電装置高圧受電設備を、地上から必要とされる高さまで「かさ上げ」しておくこと。

②1階に設置してある電算室を、2階など高い場所に移しておくこと。

③地下給水用貯水タンクからの配水機能停止に備え、必要なバックアップ措置を施しておくこと。

温暖化に起因するとみられる昨今の長雨や豪雨の多発により、当地域においても建造物等への浸水被害の対策を考えなければならぬ時期に入っており、まず役場庁舎も、村内では低い平地に位置しているため、天竜川などの河川氾濫の際には浸水被害を受けることが心配されます。そうした有事に備え、庁舎機能の根幹を担う機械設備が、たと

2、天竜川沿い下段地域の土地利用計画について

①村で進める都市計画策定に際しては、策定の目的、意義、策定によるメリット、デメリットについて、充分に村民に説明をした上で着手すること。

②今後の土地利用を考える中で、生産緑地として農地を保全するなど、都市計画の視点について研究すること。

③国土利用計画豊丘村計画（平成25年策定、28年1次改定）で定められた「田園集落ゾーン」の土地利用計画策定にあたっては、広く住民の意見を取り入れ、反映すること。

近年の農業を取り巻く環境は、農家の減少、就業者の高齢化、後継者不足により、遊休農地や荒廃地が増加傾向にあり、農地の保全や相続の問題や隣地

との関係など諸問題が生じています。また、竜東一貫道路の全線開通により、下段地域で大手企業の工場誘致、村内企業の工場拡大、道の駅のオープンドラッグストアの進出などの開発事業により、「田園集落ゾーン」内の農地が減少しています。さらに竜神大橋の架橋による、今後の土地改変需要は強まることも考えられます。

3、緊急通報装置設置事業の対象者拡充について

①一人暮らし高齢者世帯の対象年齢を65歳以上に幅を広げること。

②家族と同居をしていても、本人の希望があれば対象とすること。

③対象外の希望者でも負担をいただき利用可能にすること。

全国的に一人暮らし住まいなどの高齢者が、緊急時の連絡が出来なくて死亡するなど悲しい出来事が多発しています。村内にお



提言書を村長に渡す

いても、60代の一人暮らしの方が自宅に亡くなっていた。などの事例が起こっています。

家族と同居する高齢者でも、家族が仕事などで出掛けている間は、単独高齢者や高齢者のみの世帯状況となり、村が対象者としていない。適応条件に合致しない。社会文教委員会で行ったアンケートでは、「この事業の「拡充を望む」声が多く、また、適応条件から外れた、適応条件から外れた方には、「少し負担をしてもよいから利用したい」との意見も聞かれました。

4、ランドセル購入時の補助事業について

①ジェンダー平等の理解を深め、ランドセルの色など、今後のこの事業について検討を行うこと。

②校章の印刷はしない方向で検討したい。

③ランドセル購入の補助事業説明会は、年度初めに行うこと。

④保護者への意向調査は今

後村で行うこと。

「国連が提唱するSDGs（エス・ディー・ジーズ）」（持続可能な開発目標）の目標ジェンダー平等を実現しよう」に関連して、ランドセルもジェンダーレス化「性別による色の観念は必要ない」が関係しています。ランドセルの年中児、年少児の保護者にアンケートを実施しました。

ランドセルの色について、男女に関係なく、色の選択を望む。中間色一色を望むは1/3で、校章の印刷はしないが6割。この補助事業を知らない保護者が早めに購入予約をしてしまった事例もありました。



# 年末の風物詩

年の暮れを彩る情景写真を、表紙の写真の説明に加え 3 点掲載いたします。リンゴやナンテンの出荷準備と「おやす」作りです。寒い時期の作業や行事ですが、写真には収穫の喜びや正月を祝う気持ちがにじみ出ていて、温かい雰囲気が伝わってきます。じっくりとご覧ください。

## 表紙の写真

2021 年 12 月 6 日午後、小園の篠塚努さん宅にお邪魔しました。家族お二人とお手伝いさん 4 人で市田柿の出荷作業をされていました。「今年の柿は大玉で病害虫は無かったが、水分が多く乾燥に苦労した。しかし、仕上がり具合は上々で、12 月いっぱい忙しい」と微笑んでおられました。篠塚さんは JA みなみ信州柿部会みさと支部の支部長を務めておられます。

## リンゴの選別



堀越中宮の田島康嘉さんご家族です。収穫を終え、「ふじ」の選果を行っています。色良く仕上がったリンゴを前に、思わず笑顔がこぼれていました。

(写真は康嘉さんと奥さんのかおるさん、息子さんの昭弘さん)

## ナンテンの採取



『“難”を転じる』、正月飾りの縁起物には欠かせないナンテンの赤い実。昨年は開花時の降雨で落花が多く、結実が少なかったそうです。8 割結実の上物を選ぶとのことでした。

(伴野原の三石勝雄さん園)

## 皆で「おやす」を作る

おやすは、この地域独特の、新年に神様にお供えするものを入れる食器のことです。先輩の方々に手取り足取り教えていただき、壬生沢福島地域恒例のおやす作り。初心者も、縄をなうのに苦戦しながらも、教わる人も教える人も、みんなで和やかなひと時を過ごしました。

(壬生沢福島拠点施設にて)



# 北部 5 町村議会 懸案事業 要望活動実施 長野県議会正副議長並びに関係委員長、県建設部へ

下伊那北部ブロック町村議会 片桐 忠彦



県議会正副議長への要望活動

今年も下伊那北部ブロック町村議会にて各町村の懸案事業の要望活動と、県議会開会日初日に合わせ、11月25日に県議会棟において行いました。

要望件数は 5 町村で全 13 項目に上がりました。(要望項目は前号に記載)豊丘からは、「竜神大橋」早期完成とその予算確保について、医療的ケア児(者)支援の充実を求めるもの、さらには、天竜川堤防道路を活用したサイクリングロードの整備を求めるものの 3 件

また、知事部局では、田下昌志建設部長、企画振興部岩下秀樹町村道課長にお渡ししました。

正副議長及び知事部局の要望の際には、当番町村の高森町小平議長が全 13 件の概要を説明し、補足の説明など行い、対応を求めました。

県議会前記の各委員長には、時間の関係で、要望書の手渡しのみとな

要望しました。

要望に当たっては、飯伊選出の 4 県議員にご案内いただきました。要望書の提出先は、県議会関係では、宮本側副議長、清水純子副議長、高島陽子県民文化健康福祉委員長、共田武危機管理建設委員長、中川博司

建設部関係では、建設部次長、河川課長、道路管理課長、道路建設課長補佐も同席いただき、要望内容をお聞きいただきました。

建設部長からは、それぞれコメントがあり、竜神大橋では、4 年には下部工終了させ次へ進む。サイクリングロードでは、活用計画を立て、建設工事の分担など考えながら実施していくことになった。



知事部局 建設部への要望活動

## 長野県町村議会 議長会会長賞 4 議員受賞

第 33 回長野県町村議会議長会総会の場において、当選 5 回(18 年以上)の川野孝子議員が、議会議員として多年にわたり地域の振興発展と住民福祉の向上に貢献された功績に対し、当会の会長賞を受賞されたものです。



受賞された川野孝子議員

また当選 3 回(10 年以上)の井原康明議員、松下亨議員、吉川明博議員が議会議員として多年にわたり地方自治の進展のため尽力された功績で、同じく受賞されましたので報告致します。



受賞された左から吉川明博議員、井原康明議員、松下亨議員

# 地域と共に発展していく会社に

## ―電気工事会社経営の片桐さん―



みすず電工株式会社 代表取締役 片桐 達哉さん

伴野地籍の主要地方道伊那・生田・飯田線沿いに電気工事会社を営んでいる片桐達哉さんをご紹介します。片桐さんの会社は主に住宅関係の設計、施工、保守など幅広く手掛けています。片桐社長にお話を伺いましたので、起業のきっかけなどを紹介いたします。

### ＊＊起業のきっかけと移転＊＊

愛知県に本社を持つ電気工事会社の飯田支店に勤務しておりましたが、部署の閉鎖を機に退職し起業しました。平成19年、36歳の事ですが、今考えればよく思い切ったなと思います。会社を経営するのは思った以上に大変でしたし、すぐにリーマンショック、震災、その他幾度となくピンチに遭遇しましたが体力で乗り切った15年という感覚です。



マープル  
Instagram

上郷飯沼のテナントを借りて営業しておりましたが、いつかは地元に戻って社屋を構えたいという思いを持っていたところ、大変な難いお話を頂戴し農地を譲っていただきました。農地転用などの手続きを経て平成31年に社屋を建設し、翌年移転して当村での営業を開始しました。ログハウスなので周囲の方は喫茶店でもできるのかなと思つたそうです。

### ＊＊営業内容＊＊

主に住宅の新築や増改築に係る電気工事をしており、設計と施工の両方を請け負っております。最近では村内の方々に声をかけていただく機会も増えて、ご家庭内等で発生する困り事にも対応させていただいております。消防設備の工事や保守、エアコンの設置工事なども手掛けております。



みすずちゃん  
チャンネル  
YouTube

他に美容部門を持つておりまして、飯田市東中央通りに「マープル」という美容院を構えております。令和4年には創業17年を迎えることとなりました。

### ＊＊村に対する思いなど＊＊

親子ほど歳の違う社員と一緒に仕事しておりますが、若いというのは素晴らしいですね、色々と教わっています。村政には若者が輝く舞台づくりを期待していますし、私自身も開拓していかなければと思っています。

### ＊＊その他＊＊

コロナ禍にあつて将来のために何をすれば良いのか、考え抜いた末に動画編集を始めました。20代の女性社員が勉強しながらユーチューブで地元ネタなどを配信しております。美容部門のInstagramと併せフォロー頂けましたら幸いです。

## 編集後記

●12月定例会の期間中は、開会日・再開日・総務産建委員会・予算決算委員会・広報広聴特別委員会を1回ずつ。一般質問・社会文教委員会・広報部員会・議会改革検討委員会・議会運営委員会を2回ずつ。その他飯田シルバー人材センターとの懇談会、議会運営委員会主催の研修会・村への政策提言を行っている。

●新規感染者が全国で毎日2万人を超えていた昨年8月25日、当時の菅総理は「明かりははっきりと見え始めている」と語ったとおり、12月末現在では2000人以下がずっと続いている。この状態が続いて欲しい。(平澤恒雄)

|       |       |
|-------|-------|
| 発行責任者 |       |
| 議長    | 片桐 忠彦 |
| 広報部会  |       |
| 部長    | 唐澤 克己 |
| 副部長   | 壬生眞由美 |
| 部員    | 武田 篤子 |
| 部員    | 吉川 明博 |
| 部員    | 井原 康明 |
| 部員    | 平澤 恒雄 |